

島田市初の「事業仕分け」24事業を対象に開催

◎企画課 ☎36・7235

9月20日・21日の両日、島田市初の事業仕分けが市役所で行われました。24の事業のうち21事業に「市が実施すべきだが改善が必要（要改善）」との厳しい評価。残りの3事業はいずれも「現行のまま」の評価で「不要」はありませんでした。

仕分けは、市民や有識者で構成する「事業仕分け委員会」の委員12人が2班に分かれ実施。今回は、市総合計画後期基本計画のうち1章（都市基盤整備）、2章（防災）、3章（産業）の関連事業を対象としました。平成27年度は4章（健康・福祉）、5章（環境）、平成28年度は6章（教育）、7章（協

働のまちづくり）の関連事業を対象に、事業仕分けを行う予定です。開会式で松本有二委員長（静岡産業大学教授）は「前向きな形での仕分けができた」と今回の仕分けを振り返りました。



事業仕分け委員の皆さん

防災力向上へ「地域防災リーダー養成講座」開催

◎危機管理課 ☎36・7143

9月14日、地域の防災力向上を図るための人材を育成する「島田市地域防災リーダー養成講座」が市役所で開講しました。今年度は26人が参加し、全8回の講義をおして、自主防災会の災害対応力強化を目指します。

開講式で染谷市長は「行政としても、いざという時にしっかり動ける体制を整えます。しかし、地域の特性を一番理解しているのは、そこに住む市民の皆さんです。行政と市民が手を携

えて、共に地域の安心安全を守っていただけるように、防災リーダーの活躍に期待しています」と話しました。



講師の中部危機管理局松本氏

江戸時代の志戸呂焼など貴重な陶芸作品を受贈

◎文化課 ☎46・3446

9月18日、大河原建設㈱から創業60周年を記念して、陶芸家の小川幸彦氏の作品29点および志戸呂焼6点が市へ寄贈されました。

朝倉純夫代表取締役社長から寄贈された作品は、博物館収蔵品展「収蔵品にみる陶芸とセラミックアート」（平成27年1月17日～3月22日）にて展示する予定です。

また、大河原裕尊氏（榎秀和ロジステイクス代表取締役社長）からも、ふるさと寄付金が市に贈られました。



市長に目録を手渡す朝倉氏と大河原氏（右）

河川は共有財産「リバーフレンドシップ」に調印

◎土木管理課 ☎36・7181

9月25日、市内の河川美化活動団体3団体と市および県島田土木事務所との3者による「リバーフレンドシップ」調印式が行われました。この事業は、県が管理する河川の一定区間において、住民や利用者などがリバーフレンドとなり、清掃や除草などの河川美化活動を行うことにより、河川を共有財産として保全する意識を啓発するものです。

調印した3団体とその活動範囲は「クリーン大津谷川落合の会」（大津谷川）、「東町自治会」（大津谷川・栃山川）、「山ざくらもみじの会」（大井川）

で、それぞれ除草などの愛護活動に取り組んでいます。

今回の調印により、市内では21団体がリバーフレンドとなりました。



左から市長、増本氏、大石氏、河畑氏、杉本所長